

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「自分らしい暮らし」を理念に掲げ、常にその人の以前の暮らしが継続できるよう、職員も共有している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. ほとんどできていない D. ほとんどできていない	29年・30年・31年と地域との交流を目的としたお祭りや地域参加型の研修を行っていたが、今年度はコロナの影響で祭りの中止や運営推進会議も書類での確認や公民館での開催となっている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今年度はコロナの影響で資料の配布を行い、質問等あれば受け付けたり、公民館での開催にて活かしている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議での意見交換を行い、また必要時には意見を聞くような関係である。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修にて身体拘束の行為を理解し、身体拘束は行っていない。また運営推進会議時（資料配布にて）身体拘束適正化委員会も併用し都度報告しており、日中は玄関の施錠もしていない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修にて虐待への理解を深め、日頃から虐待がないよう注意している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修にて権利擁護に関する理解を深め、玄関にも成年後見制度について掲示している。現在1件後見制度を利用されており、他必要と思われれば橋渡しを行う予定である。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時は重要事項説明書に沿い、十分に説明を行い理解・納得を図っている。料金改定については文章にて通知し、看取りによる加算等は直接家族へ説明をおこなっている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヵ月に一度身体状況等写真と本人の直筆の手紙を添えその時にご意見等あれば連絡していただくよう記載している。薬に関する要望や嗜好品に関する要望等あり。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月1回のスタッフ会議や連絡・申し送りノートで常に職員意見を反映しており、その日出勤していないスタッフもすぐ把握できるようスタッフ間の連携も良い。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できるだけ定時で終業できるようにしている。年2回の人事考課(職員面談)をおこなっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期研修とキャリアパスによる評価にて不得意な部分を明確化し、本人が目的を持って取り組めるよう努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	他グループホームとの意見交換を行い、質の向上に取り組んでいる。			

14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一緒に散歩したり、家事を行ったり、時には直接要望を聞いたり一緒に過ごす時間を多くとっており、その中で発言された言葉(〇〇行きたい・手仕事をしたい・〇〇が食べたい)を大切に実現できるよう支援している。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時や面談時に馴染みの店等聞き取りを行い馴染みの店等あれば行けるよう支援しているが現在はコロナにて必要以外は外出していない。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	思いを言える方は把握しやすいが、困難な場合やはり生活歴の把握が重要だと考え、管理者だけでなく日頃から職員全体で家族とのコミュニケーションを図っている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月会議には入居者も参加しサービス評価を行い、個別ケアの現状維持・変更を話し合っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケース記録・日誌にて特に本人の言動を記録し、その他個別支援実施状況、水分量、排泄、バイタルを記録し支援に活用している。急に不機嫌になる利用者に対して散歩をすると良いとの気づきにて促している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれ育つニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在、特殊なニーズはないが、以前は高校野球の試合や練習や試合を見にいたり、ターミナル時に自宅へ帰ったり可能なニーズに対応していた。			

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☒ D. ほとんどできていない	以前は認知症カフェや、地域の祭り見学、行事へのボランティア依頼等おこなっていたが、現在コロナにてできていない。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入所前に協力医療機関の医師がかかりつけ医になることを必ず説明し同意を得ている。本人が他の病院を希望されれば、可能な限り希望通りに対応している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	入院時は情報提供を行い、看護師長と連携をはかり相互に連絡しあっている。またできるだけ主治医による説明も家族と同席している。約一週間ごとに面会と状態確認をし、退院時期について相談することで、スムーズに退院できるように病院・家族と連携している。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	主治医により看取りの指示があった場合、家族・主治医・訪問看護を交え今後の対応について何度も話あっている。事業所で可能か判断し可能で家族・本人が希望された場合看取りの説明を行い同意を得ている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	マニュアルを作成し全員が把握できるようにしている。年1回緊急時の対応の研修をおこなっている。例としてレベル低下される入居者の対応もできている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	年2回防火避難訓練を行っていて、水等の準備もしている。隣のデイサービスが地域の避難所として防災訓練を実施した。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重 とプライバシーの 確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプ ライバシーを損ねない言葉かけや対 応をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	プライバシー保護の研修も行っており、言葉 遣い、態度にも注意している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らし い暮らし	職員側の決まりや都合を優先するの ではなく、一人ひとりの日常生活にお ける希望や意向、暮らしのペースを大 切にし、その日をどのように過ごした いか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝や起床も利用者のペースにできるだけ 合わせ朝食もバラバラである。入浴も本人 の体調や気が向かない場合は日をずらし対 応している。			
28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人 ひとりの好みや力を活かしながら、利 用者と職員と一緒に準備や食事、片 付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来るだけ一緒に準備したり、片づけしたり している。コロナまでは昼食は職員と一緒に 食べたり。希望の買い物も時々一緒に行っ ていた。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分 確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひとり の状態や力、習慣に応じた支援をして いる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士による定期での評価・助言を行 っている。食事量・水分量は毎日記録し、少 ない場合は嗜好にあった飲み物や食べ物 を提供している。			
30	口腔内の清潔保 持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本 人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後に口腔ケアを行い介助が必要な方 は舌ブラシ等でケアし、肺炎予防に努めて いる。月1回口腔外科の往診、月3回歯科 衛生士によるチェックを行っている。夜間義 歯を入れて寝る習慣のある方には無理強 いはしていない。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立にむけた支援、便秘の予防等、 個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り、トイレでの排泄を促し、排尿ない 場合も多いが日中は2人介助になっても全員 トイレを使用している。出来る動作は本人にし てもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむこと ができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	週2回以上は入浴してもらっており、入る前に バイタル測定、本人の意思を確認し、無理強 いはしていない。湯船に入っている時は脱衣 室で様子を伺い、羞恥心に配慮しているが、			

				その日の業務により午前や午後になったりする制約はある。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昼寝の時間を調整したり、体調や 体力に応じて、日中の活動を促し、 昼夜逆転にならないよう支援して いる。また、夜の入眠時間も、本 人の意思を尊重している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	誤薬がないよう3重チェック、薬 準備・服薬時の確認の徹底をして いる。処方に変更があれば職員で 共有し、変更後からの状態・バイ タルの観察を行い、その変化を主 治医・看護師に報告している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理をメインにできることはおこ なってもらい、最近では味付けま でされる利用者もいる。計算プリ ント、針子や絵歌なども楽しめ るよう支援している。週1回の音 楽療法も楽しみにされている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう支 援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希 望を把握し、家族や地域の人々と 協力しながら出かけられるよう に支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族と協力し自宅に帰ったり、買 い物、食事、季節ごとの外出の支 援をおこなっているが、今年度は コロナの影響で頻度は少ないが、 人のいないところに出かけてい る。天候の良い日は施設周辺の散 歩へ行き気分転換に努めている。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの 大切さを理解しており、一人ひと りの希望や力に応じて、お金を所 持したり使えるように支援してい る	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族と相談し小遣い程度自分で持 つても可である。買い物時は自分 で支払いができるよう支援してい る。本人希望でほしい物がある場 合、お小遣いでスタッフが購入し てくる場合もある。使用項目につ いても入金時家族に説明している。			

38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	☒ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	手紙やはがきは自由に投函できるよう支援している。手紙等も本人宛てであれば本人に渡している。電話に関しても自由である。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	季節感のある飾りつけや、製作した作品、花などを飾り、殺風景にならず生活感のある空間になるよう配慮している。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	出来る限り、食べたい物や欲しいもの、行きたいところ等、本人の希望に添ったケアを心掛けている。意思疎通が困難な方はご家族の協力を得て情報提供して頂き、本人の自分らしい暮らしに近づけるよう工夫し、努力している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	最初から深く聞こうとはせず、徐々に馴染みの関係を築くことが大切と考えている。都度新しい情報はケース記録に記録し共有できるよう努めている。個別に足浴したり、入浴を週3回にしたり、入眠・起床時間は自由で、お酒の飲用も可能である。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	定期的な往診、訪問看護による状態観察、歯科口腔外科・歯科衛生士による定期的な口腔ケアを主治医との連携で健康管理を行っている。日々の状況によって、本人の不安要素や、思いを出来るだけ聞き、本人にも分かりやすい説明と、精神的ケアを心掛けている。		☐ A. 充分にできている ☐ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	☐ A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている ☐ C. あまりできていない ☐ D. ほとんどできていない	今では難しいが、本人のこれまでの生活スタイルに合わせ、家族と協力し、慣れ親しんだ地元祭りへの参加や、畑や、植木バチで農作物や花を育てたり、行きつけの美容院の利用を継続してきた。			

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅から持ってこられた馴染みのものや、家族写真、位牌など自室の目の届く所に置いたり、カバンの持ち歩きが習慣づいてる方は危険のない支援を心掛けながら持ち歩いてもらっている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナまでは季節に応じた、花見、祭り、紅葉、ドライブ等、家族も一緒に参加してもらいながら、生活に張りとしみを見つけ、感じながら生活して頂ける様に心掛けましたが、現在はドライブにて実施。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理、味付け、味見、盛り付け、後片付け等本人にできそうな準備を選択したり、裁縫が得意な方には雑巾作りや、衣類のほつれ直し、刺子、その他洗濯干し、洗濯たたみなど、個々にあった役割や、楽しみを見つけ、取り組んでもらっている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	女性ばかりで難しいこともあるが、気が合う方と同テーブルにすることで自然と会話も増え、互いを気遣い、「これ洗ろたげるさかいおいとき」等、支え合って生活されている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 充分にできている B. ほぼできている ☒ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	今では難しいが、隣接の施設に知り合いがおられたら会いに行かれたり、地元、三施設合同の祭りや、地域サロンの参加、近所を散歩しながら出会った方と挨拶や会話を交わしたり、馴染みのスーパーへの買い物や、行きつけの美容院を利用し、これまでの生活スタイルと変わらないよう支援してきたが現在は少ない。			
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	A. 充分にできている ☒ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の現在、地域交流や、外出は難しくなっているが、GHは生活の場であり職員はあくまで黒子に徹し利用者の活動をいかに引き出すかに重きを置いている。今後も自立支援とは何かを追求し利用者の方が「ここに居ても良いんだ」と思える支援を目指していきたい。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	